

JNSA 2017 年度活動報告会

2018年6月12日(火) ベルサール神保町にて「JNSA 2017年度活動報告会」が開催されました。JNSAの部会・ワーキンググループより前年度の活動報告と今年度の活動計画を発表するとともに、JNSAの活動内容を会員以外にも広く周知することを目的として、毎年6月に開催しています。当日は183名の参加者をお迎えし、盛況のうちに終了いたしました。

【当日のプログラム：午前】

【A1】9：45-10：50〈65分〉 調査研究部会

「協働の会の活動目的と報告」〈15分〉

脅威を持続的に研究するWG リーダー：大森 雅司 氏（㈱日立システムズ）

＜発表概要＞本WGでは、サイバー問題における正しい課題の理解と普及啓発を目的に、NISC、JPCERT/CC、IPA、JASAと連携した協働の会を発足しました。協働の会では、各分野の実情を踏まえた現場調査に基づき、問題の背景や関係性を含めた論点整理を経て、情報交換会を通じて発信を行っています。本セッションでは、2017年度の活動において見えてきた「重要インフラ」「産業システム」をキーワードとしたサイバー問題の背景や課題を中心に協働の会の活動状況について紹介します。

「2017年情報セキュリティインシデントに関する調査報告」〈30分〉

セキュリティ被害調査WGリーダー：大谷 尚通 氏（㈱エヌ・ティ・ティ・データ）

＜発表概要＞2017年の個人情報漏えいインシデントに関する調査結果を報告します。2017年1月から12月までに公開されたインシデント情報を長崎県立大学とWGが共同で調査・分析しました。近年は大規模なインシデントが減少しているが、インシデントが発生した時に組織へ求められる説明責任は、大きくなっています。WGでは、個人情報漏えいなどのインシデントが発生した時の公表や報告書の執筆に関するガイドを作成しましたので、その内容も紹介します。

「2017年度 国内情報セキュリティ市場調査報告」〈20分〉

セキュリティ市場調査WG：森田 翔 氏（株式会社km2y）

＜発表概要＞2017年度年間を通して分析作成した国内情報セキュリティ市場調査がまとまったので報告します。本報告は、2016年実績推定値2017年2018年推定値を元に各市場の状況の変化を考察したもので、成果発表会を通して共有したいと考えます。

休憩（10：50 - 11：00）

【A2】11：00-11：50〈50分〉 調査研究部会、ISOG-J

「新しい価値を創造する人事論的、組織論的なセキュリティ対策とは？」〈20分〉

組織で働く人間が引き起こす不正・事故対応WG リーダー：甘利 康文 氏（セコム㈱）

＜発表概要＞現在、本WGでは、生きいきとやりがいを持って働ける「従業員満足度(ES: Employee Satisfaction)の高い職場環境」を創出するための様々な工夫を調査し、紹介する活動を行っています。働く人間に「悪い意思決定」をさせない環境を提供するための工夫を掘り起こし、共有することが、これまでの内部不正対策にない、新しい方向性からのセキュリティ対策、すなわちマイナスを防ぐのではなく、新しい価値を創り出すプラスのセキュリティ対策になるはずとの思いからです。今回は、この1年で実施した調査の概要を中心にWG活動の概要を報告させていただきます。

「ISOG-Jの2017年度成果物あれこれ」〈30分〉

ISOG-J セキュリティオペレーション認知向上・普及啓発WGリーダー：阿部 慎司 氏（NTTセキュリティ・ジャパン㈱）

ISOG-J セキュリティオペレーション連携WGリーダー：武井 滋紀 氏（NTTテクノクロス㈱）

＜発表概要＞日本セキュリティオペレーション事業者協議会（ISOG-J）はセキュリティ事業者が集まり複数のワーキンググループを構成し活動しています。本講演では、各ワーキンググループにおけるガイドラインの発行や講演会、他団体との連携などの2017年度の活動成果と、2018年度に予定している取り組みについてご報告いたします。

【当日のプログラム：午後】

【A3】13：00-13：50〈50分〉標準化部会

【2017年度 電子署名WG 成果報告/JT2A紹介】〈30分〉

電子署名WG サブリーダー：小川 博久 氏（みずほ情報総研株）

＜発表概要＞発足6年目を迎える電子署名WGは、PDF長期署名プロファイルのISO規格を策定（経済産業省事業）、電子処方箋への電子署名適用検討（保健医療福祉情報システム工業会）を行いました。また、今年はPKI相互運用技術WGと電子署名WGを基に「日本トラストテクノロジー協議会（JT2A）」を正式に発足し、リモート署名を含め、超スマート社会（Society5.0）を想定したトラスト技術の検討を行います。本発表では、2017年度の活動と2017年度の計画といくつかのトピックを紹介します。

【2017年度 アイデンティティ管理WG 成果報告】〈20分〉

アイデンティティ管理WG リーダー：宮川 晃一 氏（日本電気株）

＜発表概要＞アイデンティティ管理WGは発足13年目を迎えます。その間IT環境は大きく様変わりしましたが、ID管理、認証・認可のテーマにつきましては、どのようなIT環境においても普遍的なテーマとして取り上げられ、重要なテーマの1つとなっています。昨年度は「チャットボットにおける認証・認可の課題」や「認証・認可の前提となる要素」について検討を行いましたのでその概要と、今年度の活動内容についても合わせてご紹介いたします。

休憩（13：50 - 14：00）

【A4】14：00-14：30〈30分〉西日本支部

【経営者向け情報セキュリティ対策実践手引き 報告】

西日本支部長：嶋倉 文裕 氏（富士通関西中部ネットテック株）

＜発表概要＞JNSA西日本支部では、主に中小企業の現場の方々を対象に、情報セキュリティ上のリスクに取り組むためのツールの開発に取り組んできました。経営者向け情報セキュリティ対策実践手引きWGでは、経営の視点から情報セキュリティ対策の必要性を検討し、対策に投資するための判断をするための、見える化施策を検討してきました。今回はその検討成果についてご報告します。

【A5】14：30-15：30〈60分〉社会活動部会

【CISOハンドブック：業務執行として考える情報セキュリティ】

CISO支援WG リーダー：高橋 正和 氏（株Preferred Networks）

＜発表概要＞情報セキュリティは、危険性・損失といったマイナス面ばかりで、ビジネスへの貢献というプラスの視点で議論される事はほとんどありません。しかし、経営陣として、CISOがセキュリティに取り組むためには、危険性や損失だけでなく、ビジネスへの貢献といった経営的な取り組みが求められます。本セッションでは、「CISOハンドブック」を題材に、業務執行としてのセキュリティという視点から、経営陣の一員としてのCISOを議論します。



【会場の様子】

活動報告会の発表資料はJNSAのウェブサイトで公開しています。ぜひご覧ください。

<https://www.jnsa.org/seminar/2018/0612/>

イベント開催の報告

「JNSA 全国横断サイバーセキュリティセミナー 2018」

マーケティング部会では、地域でのセキュリティ啓発とJNSAの知名度向上を目的として、「JNSA 全国横断サイバーセキュリティセミナー2018」を、大阪、金沢、札幌、東京、沖縄の全国5都市で開催いたしました。

会員企業の皆様にスポンサーとして協賛いただき開催するこの全国横断セミナーは今年度で2回目となりますが、昨年同様大変好評で、参加受付開始後10日ほどで大阪、東京会場が満席となりました。

【セミナー概要】

- ◆ 名 称： JNSA 全国横断サイバーセキュリティセミナー2018
- ◆ 主 催： NPO日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)
- ◆ 後 援： 経済産業省、NPO ITコーディネータ協会
 (金沢会場のみ) 石川県商工会議所連合会、一般社団法人石川県情報システム工業会
 (札幌会場のみ) 札幌商工会議所
 (沖縄会場のみ) 一般社団法人九州経済連合会、公益財団法人沖縄県産業振興公社、
 一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター
 沖縄県商工会議所連合会、那覇商工会議所
- ◆ 協 賛： (社名昇順)
 EMCジャパン株式会社(RSA)、アイマトリックス株式会社、
 アルプス システム インテグレーション株式会社、
 ウォッチガード・テクノロジー・ジャパン株式会社、
 株式会社サイバーディフェンス研究所、
 大日本印刷株式会社、株式会社ディアイティ、
 デジタルアーツ株式会社、トレノケート株式会社、
 ネットワンシステムズ株式会社、
 株式会社 日立システムズ、株式会社日立ソリューションズ、
 株式会社ユービーセキュア

◆ 料 金： 無 料

◆ 対象者： 企業内セキュリティ担当者、SIerのセキュリティ製品販売者

◆開催会場

会場名	開催日	会場名
大阪	2018年8月29日(水)	第二吉本ビルディング貸し会議室
金沢	2018年9月5日(水)	金沢商工会議所
札幌	2018年9月18日(火)	札幌商工会議所
東京	2018年9月26日(水)	浅草橋ビューリックカンファレンス
沖縄	2018年10月4日(木)	沖縄産業支援センター

今回のセミナーでは、まず始めにJNSAの講師が最新のセキュリティ脅威と対策ポイントについて解説をおこない、続いてISOG-J (日本セキュリティオペレーション事業者協議会) メンバーが、ISOG-Jの成果物である「セキュリティ対応組織成熟度セルフチェックシート」と「セキュリティ対応組織の教科書」を紹介しながら自組織のセキュリティ成熟度を測る方法をご紹介します。

続いて、今回のセミナーの目玉でもある経済産業省サイバーセキュリティ課の方によるご講演です。「産業サイバーセキュリティ強化へ向けた経済産業省の取組の紹介」と題して、サイバー攻撃の現状や経済産業省のサイバーセキュリティ政策動向、経済産業省が取り組みを進めているサイバーセキュリティ経営ガイドライン、コネイン税制、情報セキュリティサービス基準の策定等の政策についてご説明いただきました。

最後に、JNSA講師が、JNSAで公開している様々なお役立ちツールの使い方をご紹介します、セミナー終了後は「セキュリティなんでも質問コーナー」として、情報セキュリティに関する様々な質問に当日の講師が個別に対応いたしました。



大阪会場でのISOG-J講演の様子



金沢会場での経済産業省様講演

会場では、セミナースポンサー提供のドリンクやお菓子、カタログ類をみなさまにお配りし、また、ITコーディネータ協会後援イベントのため、ITコーディネータ資格保持者の方にはITC実践力ポイントが、CISSPとCAI資格保持者にはCPEポイントが付与されました。アンケート結果（大阪会場のみ）では、ぜひ来年度も開催して欲しいという意見が複数見受けられました。地方では経済産業省本省の方の講演を聞く機会は少ないと思いますので、ぜひ来年度も要望があれば企画したいと考えております。